

# 中野区戦災・建物地図

中野区の空襲被害は、19年11月24日、鷺宮二丁目の子ども4人が流れ弾を受けて死亡したのに始まる。本格的に空襲に見舞われたのは12月27日、以来20年5月25日の山の手の大空襲まで計7回の空襲を受け、区内の大半を焼失した。加えて、20年2月11日から始まった第五次建物疎開、4月2日からの第六次建物疎開によって、区内の家屋は縦横に撤去され、終戦を迎えた時は、中野のまちはほとんど廃墟同然であった。

練馬区



空襲年月日 | 死者 | 重軽傷者 | 被害家屋

19・11・24	4		
鷺宮			
19・12・27	2	8	8
本町通・西町・江古田・野方町			
20・1・27	1	2	1
本町通・朝日ヶ丘・桃園町			
20・2・16~17		1	3
本町通・上高田・江古田・向台			
20・4・13~14	2	1	783
昭和通・東中野駅・住吉町・上高田・大和町・鷺宮			
20・5・24			30
鷺宮			
20・5・25~26	418	1,613	20,736
多田町・栄町通・昭和通・本町通・東郷町・新山通・仲町・鷺宮・江古田・野方町・大和町			

印は被害地域ほぼ中央、実際の被爆地点ではない。  
 焼失地域  
 建物疎開地域

渋谷区

■平成2年7月現在の白地図を基に、「中野区史昭和編一」「東京都戦災誌一東京都」「複製版 戦災消失区域表示 帝都近傍図一東京大空襲40周年記念行事実行委員会」を参考に作成したものである。

